

開発のねらい (2)

CBR
1000RR

Hondaは創業間もない頃から、常に技術向上のためレース活動を行ってきました。そのHondaのレーシングマシンとスーパースポーツモデル共通の特質は「扱いやすさ」ですが、私達は、公道用マシンであるCBR1000RRの「扱いやすさ」は「操る楽しみを得るための手段」であるべきと考えています。今回の開発では、歴代CBR“RR”のアイデンティティである軽量、コンパクト化を徹底的に追求しました。また、RC213V-Sの開発で得られた知見のフィードバックとして新たな制御技術も投入し、「扱いやすさ」を飛躍的に進化させることでスーパースポーツモデルを操る楽しみの最大化を目指しました。

マシンと一体となって走りに集中する時の充実感、ライダーにとって他の何物にも変えがたい喜びであると私達は信じています。そして、そのために必要な要素だけに注力して作りあげたのが新しいCBR1000RRです。

なおCBR1000RRは、制動時の安心感を高めたABS※を進化させて標準装備しました。また、ワインディングでのファンライドに加えてサーキットなどでのスポーツ走行もより一層考慮し、足回りなどの専用化とさらなる軽量化を図った一人乗り仕様のCBR1000RR SPをラインアップしました。

※ ABSはライダーのブレーキ操作を補助するシステムです。ABSを装備していない車両と同様に、コーナーなどの手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは対応できません。ABS作動時は、キックバック(揺り戻し)によってシステム作動を知らせます。



■CBR1000RR SP

※写真は輸出仕様車です。
※走行写真はプロライダーによる走行を撮影したものです。